

## 普天間移設一辺野古市議選でN Oの審判

- 9・12 名護市議選「圧勝一反対市長派 16 人、反市長派 11 人、投票率 72・07% (前回 74.06%) / 従前一市長派 12 人、反市長派 12 人、中立 3 人 (9・13 各紙夕刊)
- 9・13M 夕「普天間一名護市議選、反対派過半数一地元合意一層困難に」  
「名護市議選、反対派 過半数一市長の信念民意に、基地問題『政府への怒り』」
- 9・14H 「新基地反対多数派に一名護市議選、日米政府に明確な審判」 /  
A 「名護の民意、政権誤算一市議選移設反対の市長派勝利一知事選、仲井真氏、戦略変更も一移設シナリオ崩れる」
- 9・14A (社) 「名護市議選一重い民意が加わった」 / H (主) 「名護市議選結果一民意に従い新基地を断念せよ」 / Y (社) 「名護市議選一より困難になった辺野古移設」 / T (社) 「名護市議選一県内反対の民意は重い」
- ⇒9・15 沖縄県・仲井真知事 (71)、出馬表明 (9・16T)
- ⇒9・17 伊波洋一・宜野湾市長、正式立候補決意表明 (市長後援会結成総会) (9・18H)
- 9・13 講習生「給費制」維持方針一民主政調・法務部門会議、国の「給費制」維持方針を確認 (9・14Y)
- 9・14 給費制存続求めて一埼玉弁約 140 人、パレード (9・16T)
- ⇒9・16 給費制存続求め大集会 (日弁連など主催、日比谷公園)、約 2000 人参加 (9・17M、H)
- 9・17H 「司法修習生給費制一撤回へ市民とスクラム一勝負はこれかR、宇都宮日弁連会長」
- 9・18A 夕「司法修習、給費制で攻防一日弁連、借金重ね合格 5 割一最高裁、一律の給与必要か」
- 9・21 Y (社) 「司法修習生給与一混乱を招く民主党の横やり」
- 9・24M (社) 「法曹養成制度一『将来像』の再検討を」

- 9・14 **子供の暴力**—文科省発表、全国小中高の09年度に発生した暴力行為6万913件、前年比2.2%増／内訳—小学校7115件(対前年比9.7%増)、中学校4万3715件(同2.2%増)、高校1万83件(同2.9%減)／生徒間暴力3万4277件、教師への暴力8304件、器物損壊1万6604件(9・15N)
- 9・14 **高齢者問題**—厚労省発表、今年度中に満100歳を迎える全国高齢者は2万3269人(9・1現在)、過去最多を更新—国内在住で所在確認できた2.3万人、面会できたのはその35%、所在不明10人／100歳以上の高齢者数は住民基本台帳によると不明10人4万4449人、内女性が87%(9・14A夕)  
⇒**全国100歳以上の高齢者**、人口10万人当りの全国平均は島根県74.37人で1位(09年まで37年連続トップの沖縄県を除く)(9・14M夕)

## 民主代表選—小沢一郎氏の「敗北」と菅政権の命運

### 9・14 民主代表選—菅首相、大差で再選

①国会議員票	菅 412 (206票)	小沢 400 (200票)	各ポイント
② 地方議員票	菅 60 (1360票)	小沢 46 (927票)	
③ 党・サポーター票	菅 249	小沢 51	
合計(ポイント)	721	小沢 491	

→9・15A「**菅首相、大差で再選**—国会票は小沢氏と二分、民主代表選—仙谷氏留任、枝野氏退任へ」「小沢氏、敗れてなお—党員・サポーター獲得票は4割—衆参200人支持、残る影響力—菅氏覆う内憂外患、『党内野党』・ねじれ国会」「菅氏、約束の重荷—『年内の補正視野に入れる』、経済対策ばたばた—『高い法人税あり方を検討』、税制改正財源の壁—民主議員全員で412人内閣、政治主導誰が司令塔」「ねじれ国会いばら道—来年度予算、最大の難所—野党、『政治空白』を批判」「『普天間』、首相へ不信感—中国との摩擦も浮上、大使、中国を批判—漁船衝突、外務次官補と会見」

→9・15 各紙社説・論説

- A「菅代表再選—政権交代の初心にかえれ」／政治エディター・渡辺勉「見習い期間もう十分」
- M「菅代表再選—今夜こそ性根を据えよ」／政治部長・小菅洋人「真の信任勝ち取れ」
- Y「菅代表再選—円高と景気対策に挙党態勢を」／政治部長・村岡彰敏「政策不在もう許されぬ」
- N「菅首相は捨て身で政策の実現めざせ」／政治部長・宮本明彦「夢を語る祭りは終わった」
- T「『原点』を忘れるな—菅民主代表が再選」／政治部長・高田昌也「『脱小沢』を叫ぶな」
- サ「菅首相継投—『国益第一』に舵を切れ、『脱小沢』路線の貫徹求める」
- H「民主党代表決定—閉塞打開の展望示せなかった」

→9・16 A（世論調査） 9・14～15 電話調査 1065 人回答（59%）

- ①菅内閣—支持 57%、不支持 24%
- ②菅氏の再選—良かった 72%、よくなかった 12%
- ③菅首相の続投で政治は—うまく進む 28%、うまく進まない 38%
- ④菅首相は小沢氏を主な役職に—起用した方がよい 23%、起用しない方がよい 65%
- ⑤菅首相が政治を進めるのに小沢氏の意見を—取り入れた方がよい 42%、取り入れない方がよい 42%
- ⑥昨年の政権交代は—よかった 66%、よくなかった 21%
- ⑦今後も民主党政権—続いた方がよい 38%、そうは思わない 40%

→9・16 N「『菅氏再選を評価』 81%、頻繁な首相交代嫌う—内閣支持 71%  
に上昇、本紙世論調査」「消極的な『菅氏支持』、政策・指導力より『反小沢』—消費税上げ、賛成 46%、反対 44%」

→9・16 M(社)「普天間問題—首相は本気で「取り組み」

9・15

定数削減反対—社民・福島党首、公明・井上義久幹事長と会談—衆院比例

代表の定数削減を拙速に進めないよう連帯を呼びかけ(9・16M)

←9・10 憲法会議、衆院比例削減阻止のアピール(9・17H、アピール全文)

9・14 NY円82円台突入—約15年3ヵ月ぶり(9・15Y)

⇒9・15「円売り介入」(政府・日銀)—04・3以来の介入

→9・15Nタ「6年半ぶり円売り介入、円高阻止へ単独で—政府、日銀、一時84円台に急落」／Tタ「円高歯止めへ断固措置—欧米各国協調なく、効果一時的の見方も」

→9・16M「想定外の82円台—電撃介入市場に衝撃、業者通さず電子取引」  
「円急落、一時85円台」／Y「円高阻止サプライズ介入—『菅再選直後』狙う、政府」  
「投機筋と対決姿勢、円売り介入—『効果限定的』の声も、スイスは失敗1.2兆円損失」

9・16 米の貧困—米商務省国政調査局、発表—09年の米貧困層人口が4356万9000人(前年13.2%増)(9・17Aタ)

9・17 高卒求人数7.6%減—厚労省発表、7月の求人数約12万6000人(前年より7.6%減)、求人倍率0.67倍(対前年0.71倍)—大都市で求人倍率悪化(9・18A)

## 円高・株安の大不況と菅改造内閣の発足

9・17 菅改造内閣成立

- |        |             |
|--------|-------------|
| ①総理    | 菅 直人        |
| ②外務    | 前原誠司(48)    |
| ③財務    | 野田佳彦(53)    |
| ④法務・拉致 | 柳田 実(55)    |
| ⑤総務    | 片山義博(59)    |
| ⑥厚労    | 細川律夫(67)    |
| ⑦防衛    | 北沢俊美(72)    |
| ⑧官房    | 仙谷由人(64) …… |

## ＝ 党三役

- ①幹事長 岡田克也 (57)  
幹事長代理 枝野幸男氏 (前幹事長)
- ②政策調査会長 玄葉光一郎
- ③国会対策委員長 針呂吉雄

→9・18A 『『脱小沢』鮮明一菅改造内閣、論功行賞強い色合い』「菅流人事、亀裂はらむ一中枢から小沢色一掃、岡田氏の提案首相すぐ了承一雌伏『いずれは待望論』」  
「新執行部党内外に難題一岡田氏「議論を透明化」一小沢氏問題、明言避ける一『脱小沢で政権不安定』一野党、改造内閣に攻撃」  
「菅改造内閣一政策遂行野党協調カギ一補正の成否、試金石一減税、財源の壁」  
「介入見送り市場沈静一為替値動き小幅、改造内閣うかがう一円高抑制に効果、政策維持の見方多く」  
「財界が視線注ぐ一『実行力と速さ』」／M 『『脱小沢』政権建て直し、菅改造内閣発足一『政治主導』『地域主権』重視一補正予算案、野党に配慮」  
／Y 「円高・デフレ最大の課題、菅改造内閣発足一数兆円補正予算編成へ」

## →9・18 各紙社説

- A 「改造内閣発足一『チーム菅』構築できるか」
- M 「菅改造内閣一初めから全力疾走で」
- Y 「菅改造内閣一まず景気回復に全力を挙げよ」／特別編集委員・橋本五郎  
「『はやぶさ』に学べ」
- N 「『脱小沢』だけでなく成果を出す政権に」
- T 「政権実現こそ使命だ一菅改造内閣が発足」
- サ 「菅改造内閣一国策の空白早急に埋めよ、ぶれることのない指導力が肝要」
- H 「菅政権改造一古い政治続ければ行き詰まる」

→9・19M (世論調査) 9・17～18 電話調査 1040人回答 (61%)

- ①菅内閣一支持 64%、不支持 19%、DK17%
- ②菅首相の再選一よかった 79%、よくなかった 17%

③岡田克也幹事長起用一評価する 71%、評価しない 24%

④改造内閣の顔ぶれ一評価する 60%、評価しない 30%

⑤小沢一郎氏が今後影響力を持つこと一好ましい 20%、好ましくない 76%

⑥これまでの菅内閣の経済政策一評価する 23%、評価しない 70%

→9・19M「『脱小沢』効果解明に、本社世論調査一代表選での対決奏功一内閣支持率回復、バブルの側面も一カギ握る経済対策、臨時国会早くも山場」

→9・19Y「官改造内閣支持 66%、本社緊急世論調査一『脱小沢』評価 70%」

→9・19T「菅首相改造内閣支持 64%、全国世論調査一『脱小沢』67%が評価」

→9・20A「改造内閣支持 59%、本社世論調査一政策別期待は低調」

## 日中関係緊張激化一漁船衝突事件を機に

9・17

中国のガス田掘削問題一前原外相（記者会見）、「（掘削の）証拠が確認された場合は、我が国としてしかるべき措置をとっていく」（9・18A）

／白樺ガス田めぐって一08・6 東シナ海ガス田開発で合意→本年5月日中政府、早急な共同開発の条約締結交渉入りで合意→10年7月初の条約締結交渉／中国漁船衝突事故一本年9・7 海上保安庁巡船に衝突一中国人の船長以下乗組員を逮捕

→9・17 中国外務省、談話「中国は春暉ガス田の完全な主権と管轄権を持っており、中国側の春暉ガス田での活動は完全に道理にかなない合法だ」／「人民日報」社説一（衝突事件で）「船長を拘束する時間が長いほど代価が大きくなることを日本に分からせるべきだ」（9・18N）

→9・18A「東シナ海、尖閣の波紋一ガス田に機材一挑発？いらだつ外務省一中国、噴出す強硬論」「中国1万人訪日キャンセル一国内業界は拡大懸念、業者負担は2億5千万円」

⇒9・18 中国各地で対日デモ、警察成禦(9・19A)

- ⇒9・19 中国政府、閣僚級交流を停止／漁船衝突事件で中国人船長の勾留延長、10日間（石垣簡裁）（9・20A）
- ⇒9・20 中国、1千人規模「日本青年上海万博訪問団」の受入れ延期を発表（9・21A）
- ⇒9・21 中国温家宝首相、船長の釈放要求一釈放されない場合「更なる行動をとる」と警告（9・22A夕）
- ⇒9・22（判明）北京市当局、「訪日旅行自粛を」要請（9・23A）
- ⇒9・23 中国、日本人4人を拘束（河北省石家荘市）一軍事施設撮影容疑で（9・24各紙朝刊）
- ⇒9・23 中国、「レアアース」禁輸措置（9・24A夕）
- ⇒9・24 日本、中国人船長を釈放一処分保留のまま

## 特捜検事の証拠改ざんと検察庁の隠蔽体質

- 9・21 A 「検事、押収資料改ざんか一郵便不正事件一捜査の見立て通りに、FDデータ書き換え」「検察の都合いい日付、郵便不正押収FD一検事、同僚に『改ざん』告白一弁解『遊んでいるうちに』
- ⇒9・21 最高検伊藤鉄男次長検事（緊急記者会見）「報道を素直に見れば、何らかの犯罪になる疑いが濃い。もはや捜査せざるを得ない」一大阪地検特捜部前田恒彦主任検事（43）の逮捕の可能性について「何ら特別扱いはしない」（9・21A夕）
  - 9・21M夕「検事が押収品改ざん、郵便不正一FD更新日変更、大阪地検構図と合致一最高検が捜査、検事『故意ではない』」「押収資料改ざん、」操作の根幹揺るがす一弁護側、徹底究明求める一村木元局長・矛盾に気付く一前田主任検事『大阪特捜のエース』
  - ⇒9・21 前田恒彦主任検事を逮捕／大阪地検の前田検事執務室と前田検事自宅を捜索（9・22A）
  - ⇒村木厚子元局長の無罪確定一最高検、大阪地検、1審無罪判決につき上訴

権放棄(9・22A)

→9・22A「特捜主任検事を逮捕、郵便不正一押収資料改ざん容疑、最高検が地検捜索一書き換え、上司も認識か」「村木氏の無罪確定一検察控訴断念、厚労省に復職」「『検事の犯罪に』衝撃一改ざん容疑『最悪の不祥事だ』、最高検強い危機感一『偶然書き換え、あり得ぬ』、他の担当事件影響も」「身内スピード逮捕一最高検、異例の会見、検事改ざん『徹底的に捜査』」「特捜部出直し急務一故人の問題ではない／捜査のチェック誰が一『可視化』へ影響注視」

→9・22 各紙社説

A「証拠改ざん一司法揺るがず検事の犯罪」

M「改ざん検事逮捕一司法の根幹が揺らいだ」

Y「押収資料改ざん一地に落ちた特捜検察の威信」

N「法治国家の名を汚す検察の証拠改ざん」

T「特捜検事逮捕一検察の重大すぎる犯罪」

サ「改竄の検事逮捕一『暴走』止められぬ組織か」

H「検察の『正義』は地に落ちた」

→9・23 A(社)「大阪地検一なぜ声をあげなかったか」

⇒9・22 村木厚子元局長、職場復帰(9・22A夕)

→9・22A夕「地検トップに報告一検事の書き換え疑惑」／Y夕「押収証拠隠滅一『改ざん』同僚堅持が指摘一地検首脳に『問題なし』と放置」「改ざん謎だらけ、大阪地検前田容疑者一専用ソフト使用、郵送でFD返還」

→9・23 Y「改ざん疑惑・釈明一特捜部外にもうわさ一前田容疑者、上司に突然の電話」／H「主任検事の記録改ざん一地検首脳2月に把握、『問題ない』と内部処理」「『有罪ありき』検察の病理一主任検事逮捕、事実曲げる強引捜査」

→9・24 Y(主)「大阪地検特捜部一組織的隠蔽の批判は免れない」

9・18 小沢 一郎氏、4度目の事情聴取(東京地検特捜部)一07年分政治資金収支報告問題一第1東京検審「不起訴不当決議」を受けての捜査(9・19A)

→9・20M「検察審査会①—小沢氏『起訴相当』議決全員一致で、密室の『市民感覚』—『政治絡み情緒的に』／『国民目線必要だ』」

9・19 **推計人口発表**（総務省）、65歳以上が2944万人（総人口中23.1%）、80歳以上の人口は826万人（前年比38万人増）、初めて800万人突破—80歳以上の男性282万人、女性545万人（9・20A）

9・19 **Y「アフガン流血の総選挙—タリバンテロ続発10人死亡、投票所1500以上閉鎖」**

⇒9・19 **イラク—バグダッドで車爆弾—少なくとも計31人死亡、80人以上負傷**（9・20Y）

9・20 **T「幹部自衛官320人天下り、過去10年間—武器調達上位20社に、随意契約額と人数比例」**

—三菱重工54人（09年度契約額2629億円）、三菱電機40人（1827億円）  
川崎重工25人（1043億円）、NEC36人（722億円）、富士通18人（495億円）、コマツ15人（343億円）、三井造船8人（297億円）、日立製作所22人（197億円）、東芝27人（168億円）…

—「防衛庁天下り、何もせずカネもらえる—OBが証言『雑談する毎日』—受け入れ企業『技術的助言もらう』」

9・22 **生活保護190万人突破**（厚労省）発表、本年6月の生活保護受けた人数190万7176人、世帯数137万7930世帯—190万人超は1958年以来初（9・23A）

9・23 **イチロー—外野手**（36）、10年連続200安打を達成／鈴木一郎、大リーグ・マリナーズ所属（9・24A夕）

## 対米従属外交の演出一日米首脳会談

9・23 **米ゲーツ 国防長官**（記者会見）、尖閣諸島沖漁船衝突事件につき「我々は（日米）同盟の責務を果たす」（9・24N夕）

⇒9・23 **日米首脳会談**（ニューヨーク市内）—菅首相、オバマ大統領と約1時間

### <会談骨子>

- ①尖閣諸島付近での漁船衝突事件を踏まえ対中関係で日米が緊密に連携
- ②日米同盟をさらに深化
- ③北朝鮮を巡る 6 カ国協議に関し、再開には北朝鮮が真剣な姿勢を示す必要があるとの認識で一致
- ④米軍普天間基地の移設問題で、日米共同声明に基づき沖縄名護市辺野古への移設を目指す方針を確認
- ⑤オバマ大統領はイランの核問題をめぐる日本独自の追加制裁に謝意を表明(9・24N夕)

→9・24Y「尖閣に日米安保適用—米キャンベル次官補会見」

→9・24Y夕「日米『尖閣』で緊密連携、首脳会談で一致—普天間、辺野古移設を推進」

→9・25H(主)「日米首脳会談—沖縄負担軽減の言葉が空しい」

- 9・23 中国、温家宝首相、領土問題で「屈服も妥協もしない」と演説(国連総会一般演説)(9・24A夕)

### 中国人船長の釈放—日本外交の指揮権発動

- 9・24 尖閣沖衝突事件、中国人船長釈放—那覇地検、中国人船長(41)を処分保留のまま釈放勾留期限 9・29 を前に「我が国国民への影響と今後の日中関係を考慮すると、これ以上、身柄の拘束を継続して捜査を続けることは相当ではないと判断した」(9・25A)

⇒9・24 中国外務省副報道局長、談話「日本側の船長に対するいかなる、いわゆる司法手続きも不法であり、無効だ」(9・25A)

→9・25A「日中摩擦、検察に重圧—『不測の事態に責任負えない』—起訴、上層部が異論—政権『検察が考えた』。外交判断丸投げの形」「『領土問題』世界に宣伝—中国の戦略、日本苦境に…」

→9・25 各紙社説

A 「中国船長釈放—甘い外交、苦い政治判断」

M 「中国人船長釈放—不透明さがぬぐえない」

Y 「中国人船長釈放—関係修復を優先した政治決着」

N 「筋通らぬ船長釈放—早く外交を立て直せ」

T 「禍根残す定見ない判断—中国人船長釈放」

サ 「中国人船長釈放—どこまで国を辱しめるのか、主権放棄した政権の責任問う」

**9・25 中国外務省、謝罪と賠償を要求 (9・25 各紙夕刊)**

⇒9・24 菅首相、中国人船長の釈放について「検察当局が事件の性質等を総合的に考慮し、国内法に基づいて粛々と判断した結果だ」「戦略的互惠関係を深めるため、冷静に日中双方が努力していくことが必要だ」(9・25M夕)

⇒9・26 菅首相、「まったく応じるつもりはない」—中国側の要求を拒否(9・27 各紙朝刊)